

図書館だより

愛知みずほ大学瑞穂高等学校
瀬木学園図書館 卒業記念号
2025年2月26日

3年生多読賞表彰

一年間で30冊以上の本を借りた方を表彰します。受賞者の方には、
賞状と賞品を贈呈致します。(2024/4/1～* * * * 2025/1/31の貸出記録
より)

1位 10組 * * * * 86冊	4位 9組 * * * * 45冊
2位 10組 * * * * 77冊	5位 2組 * * * * 44冊
3位 5組 * * * * 59冊	6位 1組 * * * * 34冊

図書館クイズ 全問正解者発表！

図書館だよりの中でクイズを出題しました。全問正解
した二人には、賞状と賞品を贈呈致します。

10組 * * * * / * * * *



卒業おめでとうございます。様々な経験を積んで瑞穂高校を旅立つ皆さんに、
図書館所蔵の本から抜粋した、長めの文章を贈ります。

『世界の果てまで行って喰う 地球三周の自転車旅』

石田ゆうすけ著 (新潮社)



「ほかにもイタリアでパスタが軟らかかった例はけっこうあった。麺の固さはイタリア内
でも地域差があり、好みがわかれるらしい。

と、そこである思いに至り、ストンと腑に落ちた。

イタリアのパスタは日本のうどんみたいなものなのかもしれない。讃岐うどんや吉田の
うどんがマスコミに持ち上げられ、コシの強いうどんがまるで正義のように長らく扱わ
れてきたけれど、元来うどんは地域によって太さも固さも違う。大阪や博多などふわふ
わと軟らかいものを好む地域もあるし、伊勢うどんなんかは極端にブヨブヨで極太だ。
それらはそれぞれのおいしさがあり、各地で文化として確立されている。ところ変われ
ば味や食べ方が変わるのは当たり前。人の好みもそれぞれ違う。うどんがマニュアル化

され、全国どこに行っても同じうどんになったらそんなつまらないことはない。イタリアのパスタもそう。
みんな違ってみんないい。各地で違うからおもしろいのだ。均一化は文化の衰退なのだ。多彩さこそ豊かさ
なのだあ！」

この文章は、イタリアの田舎でブヨブヨのパスタを食べて衝撃を受けた時の作者の
気づきです。

高校を卒業して、今よりも広い世界に皆さんは出ていきます。初めての経験や出会
いもあるかと思います。その時に、“違う”と否定するのではなく、この作者のよ
うに“違う”ことをおもしろいと楽しめる人になってください。そうすれば、皆さ
んの人生がさらに豊かになると信じています。